

亀田いくお県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

12月
県議会

自民党代表質問に初登壇!

知事の政治姿勢など質す



本会議場で自民党を代表して質問する亀田議員

また、アベノミクスの効果もあり、県内経済には明るさが見られ、財政運営においても一定の成果を上げていくところだと思います。そこで伺います。現時点で、平成28年度の収支見通しをどのように見込んでいるのか。

森田知事 平成28年度当初予算の要求を取りまとめたところ、歳出では、県立学校の耐震改修が概ね終了となることから、投資的経費が大幅に減額となるものの、社会保障費や公債費などの義務的経費の増加等により、平成27年度当初予算に対し、180億円程度の増加が見込まれています。

一方、歳入では、企業業績の好転などにより、県税収入が増加するものの、それに伴い臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税が減額となることや、投資的経費の減に伴い建設地方債が減額となることなどから、前年度当初予算と比べ、150億円程度の減額を見込んでおり、全体では収支差が330億円程度生じる見通しとなっています。

高橋副知事 本県農業を持続的に発展させるためには、生産者の経営力をこれまでに強化していく必要があると認識しています。国は、政策大綱の中で、コメをはじめ、影響が懸念される品目の経営安定対策の強化、また、経営感覚に優れた担い手の育成や輸出拡大など、成長産業化に向けた体制強化対策にかかる、基本的な考え方を示しました。今後は、生産者の不安を払拭するとともに、県としては、政策大綱に基づく具体

鴨川市選挙区から市民の負託を受けて、県議会でも3期目の議会活動を積極的に展開する亀田郁夫（かめだ・いくお）県議は、昨年12月定例議会で初めて自民党を代表して質疑に登壇しました。党の代表質問のため、県政全般にわたって当面する千葉県の課題を取り上げ、森田知事の政治姿勢などをいただきました。このうち、県政の根幹である財政問題では、平成28年度の財政見通しを尋ね、TPPの大筋合意を受けた農業問題では、コメをはじめとしてTPPの影響が懸念される農作物について、本県農業の体質強化に向けた考え方をお聞きしました。ほかにも、高速道路ネットワークの整備や観光振興策など、亀田県議の主な質疑を特集しました。

知事は、2期目となる平成25年4月の就任以来、アクリン通行料金800円の継続をはじめ、コンビニ防犯ボックスなど県民の安全・安心のための施策、トップセールスによる県産農林水産物の販路拡大など、さまざまな政策に取り組んできました。

また、アベノミクスの効果もあり、県内経済には明るさが見られ、財政運営においても一定の成果を上げていくところだと思います。そこで伺います。現時点で、平成28年度の収支見通しをどのように見込んでいるのか。

森田知事 平成28年度当初予算の要求を取りまとめたところ、歳出では、県立学校の耐震改修が概ね終了となることから、投資的経費が大幅に減額となるものの、社会保障費や公債費などの義務的経費の増加等により、平成27年度当初予算に対し、180億円程度の増加が見込まれています。

一方、歳入では、企業業績の好転などにより、県税収入が増加するものの、それに伴い臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税が減額となることや、投資的経費の減に伴い建設地方債が減額となることなどから、前年度当初予算と比べ、150億円程度の減額を見込んでおり、全体では収支差が330億円程度生じる見通しとなっています。

TPP関連対策を求めて サーフィン会場誘致要望

財政問題

亀田議員 平成28年度は、総合計画「新輝け！ちば元気プラン」の最終年度であり、来年度当初予算は森田県政2期目の総仕上げの予算になるものと思います。

知事は、2期目となる平成25年4月の就任以来、アクリン通行料金800円の継続をはじめ、コンビニ防犯ボックスなど県民の安全・安心のための施策、トップセールスによる県産農林水産物の販路拡大など、さまざまな政策に取り組んできました。

森田知事 平成28年度当初予算の要求を取りまとめたところ、歳出では、県立学校の耐震改修が概ね終了となることから、投資的経費が大幅に減額となるものの、社会保障費や公債費などの義務的経費の増加等により、平成27年度当初予算に対し、180億円程度の増加が見込まれています。

一方、歳入では、企業業績の好転などにより、県税収入が増加するものの、それに伴い臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税が減額となることや、投資的経費の減に伴い建設地方債が減額となることなどから、前年度当初予算と比べ、150億円程度の減額を見込んでおり、全体では収支差が330億円程度生じる見通しとなっています。

農業強化策

亀田議員 TPP対策について、海外からの農産物との競争が激化する中、本県農業の体質強化に向け、どのように取り組もうとしているのか。

高橋副知事 本県農業を持続的に発展させるためには、生産者の経営力をこれまでに強化していく必要があると認識しています。国は、政策大綱の中で、コメをはじめ、影響が懸念される品目の経営安定対策の強化、また、経営感覚に優れた担い手の育成や輸出拡大など、成長産業化に向けた体制強化対策にかかる、基本的な考え方を示しました。今後は、生産者の不安を払拭するとともに、県としては、政策大綱に基づく具体

輸出の拡大

亀田議員 新たな輸出国の拡大など、県産農水産物の輸出拡大に向け、どのように取り組もうとしているのか。

高橋副知事

県では、国のTPP関連対策を活用しながら、ジェトロや生産者団体などと連携し、新たな輸出国や輸出品目の開拓に努めるとともに、動植物検疫など輸入障壁の解消に向けた取り組み強化を各国に働きかけるなど、輸出に取り組む事業者を積極的に支援してまいります。

●県政や鴨川市について、お気軽にご相談ください。

亀田いくお県議事務所
〒296-0041 鴨川市東町665
http://www.kameda190.com
TEL.04-7099-0190 FAX.04-7099-0191

早春の観光キャンペーンを展開

高速道路網の整備に課題

圏央道の全線開通に向け

圏央道

亀田議員 圏央道の整備状況はどうか。また、全線開通に向け、県はどう取り組んでいるのか。

高橋副知事 圏央道は、本年6月7日に神崎・大栄間が開通したことにより、県内区間95キロのうち、約8割に当たる76.4キロが開通したところです。

残る大栄・横芝間については、現在、全線にわたって用地取得を進めており、本年10月1日時点の用地進捗率は、約30%と国から聞いています。県としては、1日も早い全線開通に向け、

外環道

千葉県土地開発公社による先行取得や、沿線市町とともに組織する「用地取得促進プロジェクトチーム」の積極的な活動により、引き続き国の用地取得を最大限支援してまいります。

亀田議員 外環道の平成29年度開通に向けた整備状況はどうか。

高橋副知事 外環道は、首都圏の高速道路ネットワークの一翼を担う極めて重要な道路です。

県内区間の12.1キロは、開通に必要な用地の取得が完了し、現在、京葉道路と

京葉JCT

接続する(仮称)京葉ジャンクション(JCT)や京成本線菅野駅交差点など、全線にわたって工事が進められています。

県としては、平成29年度の確実な開通に向け、引き続き国と高速道路会社に働きかけてまいります。

亀田議員 外環道の(仮称)京葉ジャンクションのフルジャンクション化に向け、県はどう取り組んでいるのか。

森田知事 現段階では、(仮称)京葉ジャンクションの8つのランプ計画のうち、京葉道路の千葉方向と、外環道の高谷方向とを接続する2つのランプ計画が着手の状態とされています。このため、平成29年度の外環道の開通時には、ジャンクション機能の一部に制限が生じることとなります。

議員ご指摘の通り、国土強靱化を図り、首都圏の国際競争力を強化していくためには、すべての方向に行き来できるよう、速やかに機能制限のないフルジャンクション化を図ることが、防災に

おいても必要不可欠と私は判断しております。

高規格道路

要望 茂原から館山までの地域高規格道路について、時代に合った道路計画の調査を市町村とともに、きめ細かくお願いします。

今まで、市町村の要望を県が受け、国へ訴えてきました。これからは、県と市町村が一体となって、県がリーダーシップを取りながら、この計画をどうするかというようなことを組み立て直して、国へ訴えていただきたいと思います。

観光で地域経済効果

亀田議員 観光は関連する産業のすそ野が広く、観光振興することで、地域外からの交流人口が増加し、雇用機会の拡大も期待できます。観光振興は、地域に大きな経済効果をもたらす非常に重要な施策です。今回の早春の観光キャンペーンの狙いは何か。

森田知事 房総の魅力を県外の方々に積極的にPRするため、例年、観光キャンペーンを行っています。今年度は特に、JR東日本が本県を重点としたキャンペーンを展開してまいります。

県産品販売

亀田議員 アンテナショップの今後の展開をどう考えているのか。

森田知事 東京丸の内に先月21日に開設したアンテナショップは、県内特産品の販売や、近隣のレストランと連携した千葉米のPRに加え、市町村自らによる観光

高齢者が活躍する社会

亀田議員 超高齢社会では、元気な高齢者の活躍が大切だが、県はどのように取り組んでいるのか。

諸橋副知事 急速に高齢化が進む中、活力ある地域社会を維持する上で、豊富な知識や経験を持つ高齢者が、意欲や能力に応じて活躍できる環境をつくっていくことが重要だと考えています。

このため、千葉県生涯大学校の運営や老人クラブ活動に対する支援を行うことにより、本県における高齢者の仲間づくりや地域ボランティア活動などの社会参加を促進しているところです。

さらに、今年度は、元気な高齢者が活躍できるよう、高齢者の介護予防や、地域の支え合いを応援する「元気高齢者の活躍サポート事業」にも取り組んでいます。